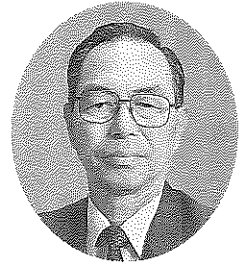


広報

むせんとう

10  
1  
No.15

発行・編集／相双地区電気工事協同組合  
編集担当 広報委員会  
〒975 福島県原町市高見町2丁目7番地  
TEL (0244) 22-1951(代)



理事長 谷津田 倫 幸

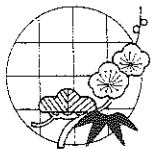
新年のご挨拶

新年明けましておめでとう  
 ございます。平成十年の新春  
 を迎え、皆様には益々ご繁栄  
 とご健勝を心より、お慶び申  
 上げます。また平素は、当  
 組合事業運営につきまして、  
 特段のご理解とご協力を賜り  
 感謝申し上げます。

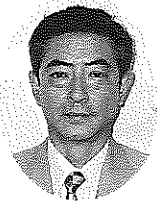
本年は当組合に於いて、記  
 念すべく創立五十周年を迎え  
 る節目の年であります。組合  
 員の皆様には御支援と御協力  
 を賜りたくお願い申し上げます。  
 さて昨年は、超大型金融  
 破たんが現実となり、日本経  
 済は先行き不透明で銀行の貸  
 し渋り等により、中小企業の  
 資金繰りが一層悪化させるに  
 至っており、大きな打撃を受  
 けている現状であります。

銀行或いは、証券業の不安  
 定な情勢が続く限り、景気回  
 復基調の実感は極めて低調な  
 状況であります。電気工事業  
 は社会資本整備の重要な役割  
 を担っているが、新たな競争  
 の時代になり、大きな変革期  
 であり、活力と魅力ある経営  
 の効率化を目指して経営基礎  
 確立の為、受注型から提案型  
 への発想の転機が、余儀なく  
 されてくる時代であり、尚一  
 層の自助努力をしながら、今  
 後組合の役割は最も重要となっ  
 ております。私達の暮らしま  
 ず、電気は欠く事の出来ないもの  
 です。電気を作るエネルギー  
 源は、大部分化石燃料である。  
 しかしながら、我が国はエ  
 ネルギー資源に乏しく、大半  
 は輸入に頼っている。石炭や  
 石油への過度の依存を無くし、  
 エネルギーの安定供給を確保  
 していく為には、省エネルギー

に努力し共に化石燃料に変わ  
 るエネルギーを着実に開発し  
 ていく事が必要です。この為  
 供給安定性、経済性等に優れ  
 た原子力発電は、化石燃料の  
 代替エネルギーの中核とし  
 て位置づけられる。更に最近  
 二酸化炭素の濃度上昇等によ  
 る地球温暖化での環境問題へ  
 の対応が、世界的な問題となっ  
 て来ておりますが、こうした  
 問題に対応するうえで、原  
 子力発電の意義が再評価され  
 てまいります。地球温暖化防  
 止から見ても、浪江、小高原  
 子力発電所建設は、最も重要  
 であります。立地促進は急速  
 に進展され、近い将来の着工  
 に期待される所であります。  
 これらを踏まえながら、当  
 協同組合は微力ながら、電気  
 工事を通じて、二酸化炭素抑  
 制対策に、使用電力の負荷平  
 準化による、電気の効率或い  
 は家電による省エネの推進、  
 化石燃料に代わるエネルギー  
 源の導入等に取り組み、社会  
 的に少しでも貢献し役立ちつこ  
 とを計画している所でありま  
 す。また、近年建設工事での  
 死亡事故は依然として憂慮さ  
 れる状況が続いており、電気  
 工事業界からの災害事故発生  
 防止を未然に防ぐ為、経営セ  
 ミナー或いは、職長教育更に  
 は、安全パトロール等の講習  
 会開催を行っている所であり  
 ます。一人でも多くの方々が、  
 受講されて本年も無事故無災  
 害で、電気工事業界の経営の  
 安定に、役立つことをお願い  
 と、関係各位の皆様には尚一  
 層のご理解と、御協力をお願  
 い申し上げ、本年も何卒ご指  
 導ご鞭撻を賜ります様お願い  
 申し上げます。



# 新年のあいさつ



東北電力(株)原町営業所  
所長 梅津 健 次

駆け出しが営業所でしたから、  
鮭が元の川に戻ったという気  
安さもあって、何となくほっ  
とするものがありました。

新年明けましておめでとう  
ございます。  
組合員の皆様には、ご家  
族お揃いで健やかな新春を迎  
えられたこととお慶び申し上  
げます。

当社事業につきましては、  
日頃より格別のご理解とご協  
力を賜わり、衷心より厚く御  
礼申し上げます。

さて私は、昨年八月の定期  
異動により、浪江・小高原子  
力準備本部から原町営業所に  
着任し、早いもので五ヶ月が  
経ちました。

私は長いこと、電源立地部  
門に籍を置いておりましたの  
で、営業所勤務は、二十七・  
八年振りとなります。

そのため着任当初は、多少  
の戸惑いもありますが、私の

しかし実際に着任して感じ  
ましたのは、時の流れ以上に、  
電気事業を巡る環境の変化に、  
ものすごい速さと激しさがあ  
り、第一線営業機関に立つ者  
として、今何を為すべきか悩  
みもいたしました。

そこで私がかつて不動産屋  
さんの様な仕事をしていた時  
の事を思い出し、着任の挨拶  
時、全所員を前にして、次の  
ような訓示をいたしました。

今の電気事業体制になって  
四十六年の歳月が経つが、今  
時ぐらい電気事業のあり方が  
問われている時はない。

これまで電力は、地域独占  
に胡座をかいているとの批評  
があっても、これを無視して  
来たきらいがある。

今国際的な競争が激化して  
いる中で、電気事業の体質そ

のものが、ごく普通の会社へ  
と変革することが求められて  
いる。ごく普通の会社とは、  
電力と無縁であった「倒産」  
もあり得ることである。

こういう時に我々営業所の  
者は何を為すべきか、それは  
地域との信頼関係を従来以上  
に構築することである。

そのためには、まず普段お  
客様と接する態度は、常に相  
手の目線より頭をさげること  
である。その態度は、身内の  
工事会社の人、会社のOBの  
人であっても同じでなければ



副理事長 昭一 鈴木

## 年頭のあいさつ

新年明けまして、おめでと  
うございます。

組合員の皆様には、輝かし  
い新春をお迎への事と、お慶  
び申し上げます。

平成九年度は、本当に苦の  
年であったと思われまふ。  
日本の経済事情はもろろん

いけない。真心をこめ、誠心  
誠意、平身低頭をもってお客  
様と接せよ。

という意味合いのものでし  
た。この考えは五ヶ月が経っ  
た今でも変わることなく、自ら  
の行動で示しております。

これから本格的な冬場を迎  
える訳であります。どうぞ  
今年も組合の皆様方と一緒に  
手を携えて「安全第一」に努  
めてまいりたいと思ひます。

今後ともご支援ご協力をお  
願ひいたしました。新年のご  
挨拶に代させていただきます。

の事、私共、電気工業界に  
も寒風が吹きこみ、年間の受  
注率は約十二%も下落し、尚  
一物件ごとの利益率は、ほと  
んどマイナスであると言われ  
ておりますしその反面、工事  
を営む為の経費は年々増加し  
ております。このギャップは  
年と共に広がる様相を呈して  
おります。

こんな経常の中で、もし事  
故でも発生したら大変な事態  
になってしまいます。皆さん

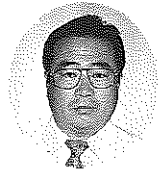
もご存知の事と思ひますが、  
私達の組合には第三者損害賠  
償保険があります。不事の災  
害の時の為の救い手段です  
が、我が相双地区では九三%  
の加入率です。福島県下では  
約五九%という低い加入率で  
しかありません、しかもその  
受給率は全国でワースト一位  
の二八〇%に達しており、全  
国平均の六五、六%とはるか  
に多く、第二位の鹿児島県や  
千葉県の九五%の約三倍にも  
達して居る状況です。

福島県下の事故率も、相双  
地区の事故率も低下の兆しを  
見せてはいますが、一番多い  
のは安意なミスの為の誤結線  
の事故で、同じ会社が二度も  
三度も発生させて居る状況が  
あります。

災害は再害ではありません  
小さな気配りをする事で事故  
を防げると思ひます。

平成十年度は事故の無い明  
るい職場とし組合員全員で五  
十周年の希望の年を迎えたい  
と存じます。

今年もよろしくお願ひ致し  
ます。



副理事長  
渡辺 光夫

新年、明けましておめでと  
うございます。

時の過ぎるのは早いもので、平成も十年目となり、当組合は、本年、創立五十周年記念の節目の年を迎えることとなりましたが、現下の日本経済は、証券業の混乱、金融、保険の不安、相次ぐ大型企業の倒産など、まさに世紀末の様相を呈しております。

私たちの業界も、住宅着工件数の減少、設備投資の低迷などに加え、銀行の貸し渋りによる資金繰りの悪化など、明るい材料を探すのが困難な状況下にあります。

こうした厳しい経営環境の中で、自らの企業をいかにして発展させていくか、いかにして会社を支える社員に生活の安定感を与えるか、今はまさに、企業家として、また経営者としての真価が問われている時であり、経営者として

蓄積した知恵の發揮と英断が求められている時であると思えます。

すべての人間に公平に与えられての一日の二十四時間です。しかし、私たちは、時間がある時「時間を浪費」し、時間が足りなければ「忙しい」が口に出ますが、忙しい時は、人間としての知恵が生ま

れてくるものであります。当組合は本年、創立五十周年記念を迎えるわけでありますが、多くの諸先輩が、自ら

景気低迷の状況の下、組合創立五十周年記念の今年を業界再発展のスタートの年と位置づけ、多くの組合員の英知を結集して、新たな五十年の歴史の構築のために邁進して



理事長  
早川 武邦

明けましておめでとございます。平成十年の希望に満ちた新春を迎え、組合員皆様方の益々の御繁栄と御健勝を心からお喜び申し上げます。

毎年のことながら、元旦の清々しさと同時に身の引き締まる厳しさを感じ悠々の天地の歩みの大きさにうたれるものがあります。昨年を顧みま

の「忙しい」事業の時間を割いて、業界と組合の発展のために発露された知恵と努力に敬服するとともに、先人が築かれた五十年の歴史の重さを痛感するものであります。

景気低迷の状況の下、組合創立五十周年記念の今年を業界再発展のスタートの年と位置づけ、多くの組合員の英知を結集して、新たな五十年の歴史の構築のために邁進して

すど国内景気はもとより建設業界を取り巻く環境は依然として厳しく、公共工事の減少に加え民間工事も大幅に落ち込んでおり、受注量の減少に

苦しんだ多難な年でありました。本年も昨年以上の経済環境の厳しい状況から建築工事の好転は期待できない現状にあり引き続き苦難の年になると推定されます。こうした受

注量の減少に対応するには組合員は益々一致団結を固め、一人の落伍者も出さない様に適正価格の維持と過当競争を

排除し、組合員自身の体質の強化に務めなければならぬと思えます。更に工事量の減少を補充するため自ら仕事を作って行く必要があります。需要開発こそ必至の問題であります。特に相双地区電気工事協同組合が、今、真剣に取組んでいる共同保守管理業務、耐用年数調査結果の分析等を通して直接需要家と接触され営業の拡大に役だてることを期待するものであります。この様な不況時代に入ると経費の節減を願う福祉関係の後退が見受けられますが、優秀な人材の確保の上からも力を入れるべきであり、これが企業繁栄の道ではないかと思

ます。ぜひ今年には厚生年金基金またグループ保険、第三者賠償保険制度の全事業所加入を期待するものであります。終わりに、労働災害につきましては近年交通災害を含め多発の傾向にあります。事故防止については従来よりも真剣に取り組んできたところで

ですが、今後、尚一層の組合員の協力により当組合からは無事故無災害職場の確保に尽力されますよう祈念するものであります。

今年度も組合員各位の御健勝と御多幸を心より御祈念致しまして、年頭の御挨拶と致します。

さて、昨年をふり返ってみますと、厳しい経済環境の中での証券会社・銀行などの経営破たん、また、大企業の倒産が多発した厳しい年でありました。

この様な景気低迷している中で、新年を迎えたのであります。とくに住宅着工数及び公共工事の減少など昨



理事長  
高木 保信

新年明けまして

おめでとうございます

組合員の皆様方には輝かしい新春を迎えられた事と、お慶び申し上げます。

この様な景気低迷している中で、新年を迎えたのであります。とくに住宅着工数及び公共工事の減少など昨

年以上の厳しさが予想されま  
すので、互いに協力し合っ  
て、無理をしない経営の安定化に  
自助努力し乍ら、前進したい  
と思われます。

今年組合が組織化されて  
から五十周年の記念すべき年に  
あたり、記念事業が計画され  
ていますので、これを機会に  
更なる発展をお祈り致します。

これから厳しい寒さを迎え  
る事になりますが、組合員皆  
様方におかれましては、安全第  
一、健康第一で今年も頑張っ  
て下さい。



理事 青田 純

新年明けましておめでとう  
ございます。今年には組合創立  
五十周年記念として記念式典  
や祝賀会等が開催されます。  
昭和二十二年に東北電力原町  
営業所管内電気工事業者が共  
同受注を目的とした任意の組  
合を設立して以来五十年が過  
ぎました。戦後の混乱の中、



理事 横山 久勝

新年あけましておめでとう  
ございます。組合員の皆様に  
はお健やかに新年を迎えられ  
た事とお慶び申し上げます。

昨年は、大手ゼネコン、証  
券会社、銀行等、我々建設業  
者の経営に直接影響をおよぼ  
す業種が次々と経営破綻に追  
い込まれました。地元相双地  
区においてもソーイング業、

先輩諸兄の労苦は大変なもの  
でありました。爾来、組合員  
数も着々と増加の一途を辿り  
現在組合員数は百をこえてお  
ります。二十世紀の節目とし  
て、また二十一世紀に向けて  
是非五十周年記念式典を成功  
させたいものです。記念式典  
の成功と皆様のご繁栄を祈念  
申し上げて新年の挨拶といた  
します。



弱電工場、スーパーマーケッ  
ト等も相次いで倒産しており  
ます。

我々電気工事業は他の何  
れの業種においても必要不可  
欠とされる業種であり、その  
需要は、ある程度予想される  
ものであると認識しておりま  
したが、実際は需要を供給が  
上回る状態にあり、その厳  
しい中で同業者間での値段の  
叩き合い等が日常茶飯事のよ  
うに発生しております。

このような状況下において、  
少ない予算の中で如何に利益  
を出し、そして無駄の少ない  
経営をして行くかが、今後一  
層の重要課題になってくるも  
のと思われます。

私などの弱小会社は、経営  
者といえども現場作業に従事  
することの方が机に向かって  
いることより多いといっても  
過言ではありません。

そんな現場作業の中にも先  
述の「経営の無駄」を感じる  
ことがあります。  
照明器具を取り付けた後、  
点灯試験においても当該照明  
器具が不良品であることが判

明した事など、またこれに  
類似の例もいくども遭遇して  
おります。

不良照明器具の取り付けを  
例にしてみても、客先に与え  
た不信任は勿論、新しい照明  
器具が入荷するまでの仮の照  
明器具の取り付け及び取り外  
しなど、この無駄は誰が保証  
してくれるのでしょうか。

このような問題は今後は必  
ず発生いたします。発生した  
場合、工事業者への保証はメー  
カーが行うのか、販売店なの  
か、またどのような場合から  
保証債務が発生するのか等を  
ある程度明確にすべく、組合

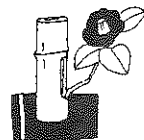


理事 八巻 正隆

あけましておめでとうござ  
います。組合員の皆様には平  
成十年の新年をお健やかに迎  
えられたことと存じ心から、  
お慶び申し上げます。思えば

不安定要素が蓄積されている  
我が国、怒濤のように押し流

の組織力をもって取り組んで  
見たいと考えておりますが、  
この件に関しましては、何か  
よい提案、助言などがござい  
ましたなら、お教えいただけ  
れば幸いに存じます。  
最後に、皆様にとって本年  
はずばらしい年でありますこ  
とを心よりお祈り申し上げて、  
ご挨拶とさせていただきます。  
本年も何とぞよろしくお願  
い申し上げます。



された、金融関連の破綻、数  
百、数十年の歳月をかけて、  
今日迄、努力されて来た、世  
界一流企業、わずかの時間で  
崩壊されるとは、全ったく想  
像が付きませんでした。今後  
共予断を許されない事と思  
うとしても残念でたまりま  
せん。我が業界にもかなりの  
影響が出る事と思われます。  
又新年度からも道路、建物等、  
建設予算も大きく削減される

との事、失望される数々の提案、生活しにくくなるにつれ、更なる引き締めが押し寄せて参ります。住宅着工戸数は延びていても、受注金額が低下しており、アンバランスの状態が続いており、より一層の努力が必要に責められております。

次に継続的にお願いして来ました、頼るまい第三者損害賠償制度をスローガンに掲げ、各事業所に配布致しました毎月のスローガン、適切に利用されてますか、利用した結果が上手に出てますか、従来、保険制度に加入しているからという安堵感にひたされた、傾向が多く、又頼りがちでした、最近では日本全国で最も事故が多かったのが福島県でした、O A機械等の搬入が著しく活発になり被害届けも数千万円と莫大な金額になっている様であります。賠償額には限度と免責が有り、自己負担が高額化しております。もう一度、一、仕様書の確認及び回路等のチェックを入念にして下さい。二、電圧及び相の確認をして下さい。三、工事

完了後、無負荷試験をして下さい。四、作業中は必ず計測機器を使用して下さい。五、お客様の分と業者の分の区訳をきちんとして、立会いを求めて下さい。以上の点を確認していただき平成十年度を事故のない明るい年に皆さんで、させていただき度いと思ひます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

営環境が他よりも整っている部分が多いと思ひます。例えば、全社員が、一人の人間として、接し方にも言葉にも、真心が表れていること。そして仕事も持つことそれに従事している全ての社員が、人に対する優しさと自分自身に対する厳しさをしっかりと持っているということ。



事湖 村井

「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり。」とは言い古された言葉ではありますが、新年を迎えるたびに、今年こそは頑張ろうと奮起一番する気持ちは清々しく、ものみならず、希望に満ちた光を放っているように思ひます。思えば昨年は、一昨年以來の円高不況を引きずり乍らも、



事昌 渡部

これから変化する技術には積極的に研修会などで学び、その一方でお客様の立場に立ちたい心遣いなどの認識を持ってほしいと思ひます。最後に会社内部から、新しい時代の発想を持って改革し、地域社会に溶けこんだ会社、業界であってほしいと考えます。

「雇用問題連絡協議会」の発足を見たことでした。こうした厳しい経済情勢の中で我々青年部は、側面から経営の安定をサポートしようとして固定経費等削減のための、コンピューターシステム導入に向けての勉強会、講習会、親睦会を開催するなど、親睦組合員の皆様からご指導を頂き乍ら活動展開して参りました。さて本年を展望いたしますと公共工事は更に削減され、建設業界を取り巻く環境は依然として厳しいものと思われ、この様な厳しい時代にこそ我々は気持ちを入れ替えて、経営の合理化と、人材の育成に力を注ぎ、会員相互の信頼と親睦を深め一層団結を強固にして経営の安定を図らなければならないと思ひます。どうぞ皆様のご指導ご協力をお願いいたします。今年には平成十年、組合創立五十周年と記念すべき節目の年にあたります。この記念すべき、良き年の年頭にあたって皆様のご多幸と、ご繁栄を心祈念申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。新年早々明るい話題ではありませんが、最近企業の経営破たんが続いています。電気工事業界にはまだその波はおしよせていませんが、これからの将来を見抜く力とそれにすばやく対応できる能力が、今最もこの企業幹部に求められているのではないかと感じています。今現在、繁盛している会社というものは、それなりの経

り、組合員の皆様と共に、新春の喜びを分かち合いたいと思ひます。一九九八年を迎えるにあたり、組合員の皆様と共に、新春の喜びを分かち合いたいと思ひます。

「公共投資削減」と云う財政再建の波にあおられ、個人消費の買い控えと設備投資や生産など民間需要を中心とする景気回復の基調は失われ、後半には倒産、失業など、景気の状態が大きく変化して、景気は足踏み状態のまま越年することとなった。せめてもの救いは、経営破綻で自主廃業となり、師走の寒空にほろり出された山一証券の従業員、今春の内定生四百九十人への就職支援策を協議する、

ご祈念申し上げます。

# 理事会開催(緊急理事会)

平成九年四月九日(水)午後一時三十分より組合会議室に於いて、理事八名全員が出席し開催、次の議題について審議された。

第一号議案 慶弔見舞規定 課金徴収方法(案) 決定の件  
第二号議案 その他

①組合五十周年記念事業について  
第七号 借入金最高限度額 決定の件

②電気温水器販売促進キャンペーンについて  
第八号 取引銀行決定の件  
第九号 役員改選の件  
第十号 その他

**第一回理事会**  
平成九年四月十六日(水)午前  
十時より組合会議室に於いて  
理事八名全員出席し開催、次  
の議題について審議された。  
第一号議案 平成九年度通  
常総会提出議案について

第一号 平成八年度事業報告の件  
第二号 平成八年度収支決算並びに剰余金処分(案)承認の件  
第三号 平成九年度事業計画(案)の件  
第四号 平成九年度収支予算(案)承認の件  
第五号 平成九年度経費賦

## 第二回理事会

平成九年五月二十一日(水)午前  
十時より、第一イン原町の  
会議室に於いて、理事八名全  
員が出席し開催、次の議案に  
ついて審議された。

第一号議案 第二種電気工  
事士受験準備講習会について  
第二号議案 組合研修旅行  
について

第三号議案 その他  
①労働基準監督署一日署長の  
協賛金について  
②組合創立五十周年記念事業  
経費について

## 第三回理事会

第三十八回通常総会時の役  
員改選後の理事会  
理事長 谷津田倫幸  
副理事長 鈴木 昭一  
〃 渡辺 光夫

## 第四回理事会

平成九年五月二十三日(金)午  
前九時より組合会議室に於い  
て、理事八名出席し開催次の  
議題について審議された。

第一号議案 福島県電気工  
事工業組合役員推薦について  
理事 谷津田倫幸、鈴木昭一  
監事 高木 保信、引込線委

託工事委員 高木 保信、共  
同保守管理委員 志賀 好  
技術経営委員 鈴木 昭一  
厚生委員 渡辺 光夫  
以上のとおり決定した。

## 第五回理事会

平成九年六月十一日(水)午後  
一時三十分より組合会議室に  
於いて、理事七名出席し開催  
次の議題について審議された。

第一号議案 各委員会の構  
想について  
①組合員全員参加の構成とす  
る  
②組合創立五十周年記念事業  
特別準備委員会の構成

## 第六回理事会

委員長 渡辺 光夫  
委員長 早川 武邦  
委員 八巻 正隆  
〃 青田 純  
〃 横山 久勝

③組合事務所建設準備委員会  
委員長 鈴木 昭一  
副委員長 八巻 正隆  
委員 渡辺 光夫  
〃 高木 保信  
〃 早川 武邦  
〃 青田 純  
〃 志賀 好  
〃 横山 久勝

③青年部  
部長 渡部 昌彦  
副部长 松林 一延  
以上決定した。

①電気使用申請手続業務につ  
いて  
②第二種電気工事士受験準備  
の為の技能講習について

## 第八回理事会

平成九年七月二十五日(金)午  
後三時三十分より和風亭もり  
のゆの会議室に於いて理事八  
名が出席し開催、次の議題に  
ついて審議された。

第一号議案 新規組合員加  
入諾否について  
光誠電気(株)、(有)協川興業  
次回理事会で検討  
第二号議案 臨時総会の開  
催について

開催日時 平成九年八月三  
十日(出) 午後二時より  
開催場所 原町公民館  
第三号議案 甲斐金保険の  
運用について

第四号議案 厚生年金基金・  
国民年金基金の加入促進につ  
いて

第五号議案 各委員会より

の報告について

第六号議案 その他

第七回理事会

平成九年八月三十日(土)午前  
十時より組合会議室に於いて  
理事全員が出席し開催次の議  
題について審議された。

第一号議案 新規組合員加  
入(再確認)の件  
光誠電気㈱、(有)協川興業の  
二社とも九月一日より加入承  
認された。

第二号議案 国民年金基金  
加入促進の件  
第三号議案 組合創立五十  
周年記念事業委員会発足の件  
組合創立五十周年記念事業  
実行委員会が次のとおり決定

- 委員長 渡辺 光夫
- 副委員長 鈴木 昭一
- 委員 八巻 正隆
- 高木 保信
- 青田 純
- 志賀 好
- 横山 久勝
- 小倉 莊藏
- 三品 信一

第四号議案 慶弔見舞金規  
定一部改定の件

組合員保険(福祉団体保険)  
に高度障害見舞金がついた為  
第五号議案 その他

①厚生事業委員会より  
組合五十周年記念釣り大会の  
予算(案)について  
②技術経営委員会より  
共同保守管理契約の推進に  
ついて

。保守技術員認定講習会の開  
催について  
。電気使用申請手続業務のシ  
ル取扱いについて  
。深夜電力機器販売協力につ  
いて

。損害賠償等に伴うアンケ  
ー調査について  
。災害発生時の連絡支援体制  
について  
③安全対策委員会より  
。電気安全月間キャラバン隊  
による広報活動の報告  
。専門工事経営セミナーにつ  
いて  
。高圧・低圧電気取扱業務の  
特別教育について

第八回理事会

平成九年十二月六日(土)午後  
二時よりステイションプラザ  
ホテルに於いて、理事八名が

出席し開催、次の議題につい  
て審議された。

第一号議案 平成九年十一  
月の議算表、収支計算書につ  
いて  
第二号議案 共同保守管理  
業務について  
第三号議案 国民年金基金  
厚生年金基金加入促進につい  
て  
第四号議案 商工中金の増

資について  
第五号議案 新年会の日程  
について  
。総会及び記念式典の日程に  
ついて、五月二十二日(金)ロ  
イヤルホテル丸屋に決定した。  
第六号議案 新年のあいさ  
つまわりについて  
第七号議案 各委員会の報  
告について  
第八号議案 その他

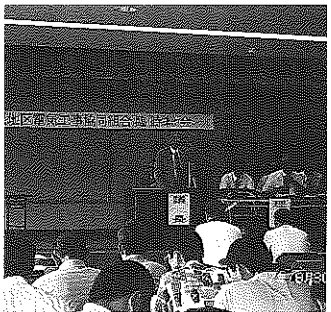
臨時総会開催

組合創立五〇周年記念事業が可決された

平成九年八月三〇日(土)午後  
二時より、原町公民館に於い  
て、臨時総会が開催された。

組合員数一〇二名、出席者数  
委任状を含め六十六名で総会  
が成立した。  
高木理事の開会宣言に続く  
て議事に入った。議長に(有)鈴  
木電設社長鈴木昭一氏が選任  
されて、議案の審議に入った。  
第一号議案 相双地区電気工  
事協同組合創立五〇周年記念  
事業について  
第二号議案 同創立五〇周年  
記念事業に伴う諸経費承認に

ついてを上程  
一括審議した結果、第一号  
議案可決承認、第二号議案の  
雑収入について、特別積立金  
三八〇万円の取崩を承認され  
原案どおり可決された。



組合員

新規加入者紹介



平成九年四月一日加入

◎JAMサービス

相馬市新沼字坪ヶ迫一ノ一  
(六四ノ二)

代表 木幡 光芳

(〇二四四―三五一七四四)



平成九年九月一日加入

◎(有)協川興業

双葉郡川内村大字上川内字  
下原四一ノ二四

代表 鈴木 輝夫

(〇二四〇―三八一五八二)



平成九年九月一日加入

◎光誠電気㈱

相馬市小泉字沖ノ内二〇  
ノ一〇

代表 濱名 徳也

(〇二四四―三五一六九二〇)

### 組合創立五十周年記念ゴルフ

#### つり大会開催

当組合は七月に創立五十年を迎えた為、十月十四日(火)組合創立五十周年記念ゴルフ大会釣大会が開かれた。

従来はゴルフ大会だけであったが、ゴルフをやらない人も親ぼくを深めようと始めて釣大会も開いた。ゴルフに三十四名、釣には二十八名が参加した。秋晴れのもと、和氣あいあい楽しんで。

両大会の表彰式は相馬市の三久で開かれ、理事長がいさつしたあと入賞者に賞品などを贈った。成績は次の通り。



#### つり大会成績表

順位	氏名	得点
優勝	青戸 栄二	3,300
準優勝	茂木 幹夫	2,280
3位	小野寺幸也	1,060
4位	田沼 勝行	940
5位	藤原 光栄	910
6位	門馬 宇	890

#### ゴルフコンペ成績表

順位	氏名	得点	HD	NT	
優勝	横山 久勝	47	50	25.2	71.8
準優勝	渡辺 貞之	46	50	22.8	73.2
3位	高橋 豊	42	47	15.6	73.4
4位	本郷 幸一	39	44	9.6	73.4
5位	大浦 巖	45	42	13.2	73.8
B.B	小台 荘蔵	68	66	36.0	98.0

### 組合研修旅行

平成九年五月二十八日、97年電設工業展を見学、国際展示場前にて



### 保守技術員認定講習会開催

平成九年九月十九日、組合会議室に於いて開催

### 電気使用安全月間

#### キャラバン隊でPR

平成九年八月二十日(水)相双地区一円を漏電遮断機の設置スイッチ、コンセント配線器具等の安全点検のPRを実施した。

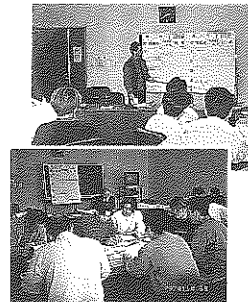
### 経営セミナー開催

平成九年十月九日(水)、テクノカレッジ浜に於いて開催！「建設業に求められている、安全衛生管理」と題して、遠藤秀治様の講演をいただいた。



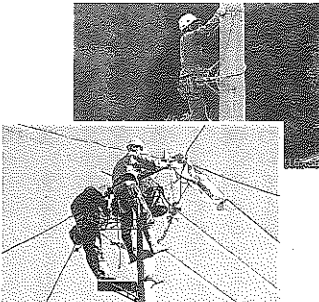
### 職長教育

平成九年十一月五日～六日の二日間、サンライフ原町に於いて開催！職長としての心構えについて勉強した。



### 危険予知訓練

平成九年十月二十七～三十日の四日間各地区ごとに実施。午前中はミーティング、午後実技、初心者もベテランも安全訓練により、安全に対する心構えを尚一層新たにした。



### 電気温水器販売促進キャンペーン実施

各地区に於いて実施、原町地区は第一イン原町に於いて開催された。

### 第二種電気工事

#### 受験に向けての講習会

平成九年五月二十二日から学科、講習実技平成九年七月八日から十日間実施。

### 青年部主催によりコンピューターによる積算セミナー開催

平成九年十一月十一日(火)ロイヤルホテル丸屋に於いて開催された。終了後青年部の臨時総会を開催、規約の改正を提案、次のとおり決定した。青年部会は相双地区電気工事協同組合(以下「組合」)に所属する組合員の後継者で組織する。……省略

本青年部の会員は組合員の後継者で四十才以下の者とする

